



2019年4月10日 N°.15  
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

# 建交労

2019年春闘・月間推進ニュース

## 3月~4月春の組合員拡大月間残り20日間

### ダンプ、 トラックを中心に拡大で成果

春の組合員拡大月間は残り20日間となりました。月間中の成果は、新結成2組織9名、組織内19組織51名となっています。組織内拡大の報告が来ているのは「ダンプ、 トラック」が中心となっています。また中国地協では、月間に3号ニュース(別紙)が出されており、各地のとりくみを交流しています。拡大対象者は、常に組合員の周辺にいます。執行部・組織建設推進委員が中心となって、組合員との対話活動にとりくみましょう。拡大成果は、中央本部への報告を必ずお願いします。

2018年度9月~ 組織拡大数		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	計
新結成	組織数	1	0	2	1	3	0	2	0	9
	拡大人数	9	0	11	1	4	0	9	0	34
組織内	全体組織数	26	39	41	35	22	29	17	2	211
	組織数(重複除く)	26	31	24	13	8	10	3	2	117
	拡大人数	59	76	113	106	50	79	48	3	534
組合員拡大合計人数		68	76	124	107	54	79	57	3	568

## 日本建設業団体連合会と懇談を実施 単価改善、公契約法・条例、週休2日制で議論

建設産別対策委員会は、4月3日(水)に建設業団体の最大手である日建連との懇談会をおこないました。

国は7年連続で公共工事積算労務単価を引き上げ、社会保険未加入業者の排除や週休2日制導入を推進していますが、現場で働く労働者の賃上げは進まず、労働環境は改善されていません。建交労からは実効あるとりくみとして、公契約法や条例制定に向けて尽力するように求めました。日建連からは常務執行役員など4名が対応しましたが、会員企業に対して「見積もり書尊重宣言」や「週休2日制行動計画」などのとりくみ報告がありました。公契約条例に対しては、「賃金引上げに特化したものを取り上げることはしていない。引き続き各県で実施している条例を遵守し、見守ります。」との回答にとどまりました。



代表挨拶をする森谷副委員長(4月3日日建連)

# 中国地協拡大推進ニュース その③

2019年4月8日  
建交労中国地方協議会

## 建設の一人親方労災に加入したいと、組合に相談、加入が相次ぐ、企業組合の要求でも2名が加入しました（広島ダンプ支部）

春の拡大月間も一ヶ月と1週間以上が経過しました。建交労広島ダンプ支部でもこの間組合加入が続いています。建設現場の労働者が、「現場で仕事をするのに一人親方労災に加入しないといけなくなった」ということで、2名の労働者が組合の一人親方労災に加入し組合加入しました。また広島ダンプ支部の「企業組合」にも2名が加入するとともに、組合にも加入、合わせて4名が組合に加入しました。広島ダンプ支部には、このほかにも建設国保や一人親方労災の問い合わせが来ています。

引き続き、組合員拡大月間の取り組みに奮闘します。

## 「一緒に事業団をしっかりしたものにしよう」と呼びかけに答えて組合加入（島根大田支部）

島根県本部荻野書記長よりうれしい報告が届きましたのでお知らせします。

建交労島根県本部大田支部では「労協しまね」で働きだして7~8年になる事業団員（女性）に組合加入を呼びかけたところ、組合加入されました。女性団員は「労協しまね」で働く中堅の労働者です。荻野書記長が「情勢はきびしいけれども、事業団を発展させ、労働条件も改善させてゆこう、そのためにも労働組合の役割が重要です」と呼びかけたところ、組合加入を決意しました。「労協しまね」で働く労働者の中には、「非組合員」もいますが、今年40周年を迎えた「事業団」（労協しまね）をしっかりしたものにして引き継ぎ発展させてゆくためにも、労働組合の役割も大変重要であり、大田支部では組織内での組合員拡大にも力を入れてきました。

荻野書記長は、「引き続き組合員拡大に力を入れていきます」と話していました。

### ニュース・取り組みをお知らせください。

当初は4月1日発行予定でしたが、事情により遅れました。お詫びします。拡大月間の取り組みについて、各県本部（支部）の状況をお知らせください。簡単なメモでも、「ニュース」でもよいので、送ってください。

中国地協として、

「月間推進ニュース」を今後隔週の月曜日に発行するので、事務局の広島県本部にfaxかメールで送ってください。次回は**4月15日（月）**発行予定です。